

「設計の点検」点検表(1/2) 土木工事／概略・予備設計

点検項目一覧

I. 基本的事項

- ① 将来計画や整備方針と整合が図られており、手戻りがないか。
- ② 必要な機能・品質等に対し、過大なものになっていないか。
- ③ その他

II. 周辺の事業・施設との関係

- ① 他事業と連携はできないか。(他事業との一体整備等)
- ② 関係機関と基本的な調整を実施しているか。
- ③ 環境団体、市民団体等と調整は必要か。
- ④ 既存施設や構造物を有効利用できないか。
- ⑤ その他

III. 位置

- ① 支障物件の調査はできているか。支障物件を回避できないか。
- ② 構造物の位置は適切か。コントロールポイントを正確に把握しているか。
- ③ その他

IV. 設計条件

- ① 将来の需要予測に見合った構造規格か。サービスレベルの設定は適切か。
- ② 他工法、材料等と比べて優位であるか。
- ③ 将来の維持管理を考慮しているか。
- ④ 既存施設への影響、機能復旧の程度に配慮しているか。
- ⑤ 周辺景観や自然環境に配慮しているか。
- ⑥ 環境への負荷を軽減する検討をしているか。
- ⑦ 排水計画は適切か。
- ⑧ その他

V. 構造物の形状・規格

- ① 用地費や維持管理費等を含めてトータルコストで最小となっているか。
- ② プレキャスト構造の採用は検討しているか。
- ③ 新技術の採用について検討しているか。
- ④ その他

VI. 仮設の計画

- ① 現地を十分に調査して条件を適切に想定しているか。
- ② その他

VII. その他

(設計の点検実施要領関係)

別紙1

「設計の点検」点検表(2/2) 土木工事／概略・予備設計

点検時の検討項目	代替案等の提案内容	想定される効果

備考

「設計の点検」点検表(1/2) 土木工事／詳細・実施設計

点検項目一覧

I. 基本的事項

- ① 必要な機能・品質等に対し、過大なものになっていないか。
- ② その他

II. 周辺の事業・施設との関係

- ① 関係機関と協議や調整を実施しているか。
- ② その他

III. 技術基準

- ① 所要の性能を満足しているか。
- ② その他

IV. 構造物の形状・形式

- ① 構造物の設計は過大になっていないか。
- ② 構造物の形状は必要以上に複雑でないか。施工性から考えて適切か。
- ③ 標準設計が採用されている場合、コスト増となっていないか。
- ④ プレキャスト構造の採用は検討しているか。
- ⑤ 維持管理を考慮した形状・形式となっているか。
- ⑥ 修繕工事等では既存構造物の延命措置を検討しているか。
- ⑦ 基礎工として十分な調査が実施され、適切な基礎処理対策が検討しているか。
- ⑧ その他

V. 新技術、工法の選択

- ① 国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録されている新技術等の採用を検討しているか。
- ② 埼玉県建設工事新製品・新技術紹介制度に紹介されている新工法や新製品等の採用を検討しているか。
- ③ 工期短縮できる技術や工法の採用を検討しているか。
- ④ その他

VI. 設計条件

- ① 周辺の景観や自然環境に配慮しているか。
- ② 周辺への影響（騒音、振動、地盤沈下等）が想定できているか。
- ③ 既存施設への影響、機能復旧の程度に配慮しているか。
- ④ 汎用的な県産品の利用を検討しているか。
- ⑤ その他

VII. 工事工程

- ① 効率的な工程となるよう、施工手順等を検討しているか。
- ② その他

VIII. 仮設の計画

- ① 現地を十分に調査して条件を適切に想定しているか。
- ② 過大な設計となっていないか。
- ③ その他

IX. その他

(設計の点検実施要領関係)

別紙 1

「設計の点検」点検表(2/2) 土木工事／詳細・実施設計

点検時の検討項目	代替案等の提案内容	想定される効果

備考

「設計の点検」点検表(1/2) 建築工事／基本・実施設計

点検項目一覧

I. 基本的事項

- ① 必要な機能・品質等に対し、過大なものになっていないか。
- ② その他

II. 周辺事業・施設との関係

- ① 他事業と連携はできないか。
- ② 既存施設や構造物を有効利用できないか。
- ③ 支障物件の調査はできているか。支障物件の回避を検討しているか。
- ④ その他

III. 技術基準

- ① 性能に着目した設計を行っているか。
- ② その他

IV. 構造物の形状・形式・使用材料等

- ① 構造物の設計は過大になっていないか。
- ② 構造物の形状は必要以上に複雑でないか。
- ③ 平面計画上、各諸室が効率的な位置にあるか。
- ④ 施工性から考えて、適切な形状、形式になっているか。
- ⑤ 使用材料、機材等設定は適切か。
- ⑥ 修繕・保全の容易性が確保されているか。
- ⑦ その他

V. 新技術・新工法の選択

- ① 新技術、新工法を採用することができないか。
- ② 工期短縮できる技術や工法の採用を検討しているか。
- ③ その他

VI. 指定仮設の設計

- ① 過大な設計になっていないか。
- ② 現地条件に適合した設計になっているか。
- ③ 効率的な仮設配置になっているか。
- ④ その他

VII. ライフサイクルコスト

- ① エネルギー費（水光熱費等）の運用費について低減を図っているか。
- ② 保守・点検費等の保全費について低減を図っているか。
- ③ 修繕・更新費について低減を図っているか。
- ④ その他

VIII. 工期の短縮

IX. 環境負荷の低減等

X. その他

(設計の点検実施要領関係)

別紙 1

「設計の点検」点検表(2/2) 建築工事／基本・実施設計

点検時の検討項目	代替案等の提案内容	想定される効果

備考
